

令和6年度 第2回 内野小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月27日（木） 13時30分から15時00分
- 2 開催場所 浜松市立内野小学校 北校舎3階 会議室
- 3 出席委員 作田 悠佳、山口 暢子、中嶋 大祐、中道 想、大久保 公雄
金子 香穂利、伊藤 正
- 4 欠席委員 岡田 正利、平野 岳子、桑原 純一郎
- 5 オブザーバー 黒瀬 渉（きじの里放課後児童クラブ）
井田 正人（浜名協働センター）
- 6 学 校 生熊 周（校長）、山田 広美（教頭）、酒井 綾乃（CS ディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 酒井 綾乃
- 9 議長の選出

司会の山田教頭から、コーディネーターの山口委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

●見守りボランティアの拡充について

11 会議記録

司会の山田教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

●見守りボランティアの拡充について

○見守りグッズを身に着けて歩いてもらうだけで、犯罪抑止になる。学校の見守りボランティアは、活動時間帯が登下校時という時間の縛りがあるが、市の「子ども見守りボランティアは、買い物や散歩時などにグッズを身に着けるだけ、という気軽さがある。この気軽さを強みとして、多くの人に登録を勧めたい。（山口委員）

○子どもからすると、このグッズを着けている人は「安全な人」という認識になる。

ボランティアの成り手は多い方がよいが、「誰でもいい」というわけではない。直接顔を見て、ボランティアの趣旨を説明できる距離感を大切にしたい。（生熊校長）

○グランドゴルフをする方に配布するのはどうだろうか。ボランティアの募集対象は「誰でもいい」わけではない。セキュリティの面でも「この団体なら大丈夫」という人たちに勧めたい。（作田委員）

○OPTAに関係する人に声をかけるのはどうか。今年度だけでなく、来年度の役員にもつなげていける。継続して登録されることで、徐々に人数が増やせると思う。

（中嶋委員・大久保委員・伊藤委員）

○内野学区の商売をしている人たちに声をかけるのはどうか。昔から「駆け込み110番」を掲げている店舗や企業にも、この声掛けで、再度防犯意識を持ってもらえ

と思う。（大久保委員）

- 「コミュスクだより」を作っていこうと思う。その中でボランティアについても触れていければと思う。（山口委員）

その他報告事項等

山田教頭から、次回会議は10月11日（金）午後1時30分から北校舎3階会議室で開催される旨の報告があった。